

日本人気管支喘息患者を対象としたクラスター解析 ～多施設共同臨床研究～

研究代表：筑波大学医学医療系臨床医学域 呼吸器内科学 教授 檜澤 伸之

① 研究の意義・目的・方法

本研究は、クラスター解析という統計法を用いて様々な背景を持つ気管支喘息患者さまをグループ化し、そのグループ分類の有用性を検証することを目的としています。今回はわが国の喘息専門施設が協力し、気道炎症の指標として呼気一酸化窒素濃度と、新たな呼吸機能検査法であるオッシレーション法を検討項目に加える点が特徴的です。

この検討により、わが国の喘息患者さまの中でも、重症化・難治化するグループに対してより良い管理・治療を行うための知見が得られることが期待されます。

② 過去の研究で得られた試料の取り扱い

過去の研究（「炎症性肺疾患の遺伝素因に関する研究」）に参加していただきました患者さまの中で、臨床情報や血液を新たな研究に使用することに同意して頂きました方につきましては、試料の再使用を了解して頂きたいと考えます。

③ 個人情報について

本研究に参加される方はすべて通し番号化され、すべての個人情報は匿名化されます。プライバシーは厳密に守ります。将来この研究によって得られた結果が論文などに公表される場合にも、個人が特定されることはありません。

研究結果が直ちに皆様の役に立つという可能性は低いと考えられますが、参加者が結果の開示を希望される場合には、ご本人に対してのみ結果の説明を行います。

④ 研究への参加を希望しない場合

研究への参加を希望しない場合は、下記連絡先までご連絡お願いいたします。

⑤ 本研究に関するお問い合わせ・苦情などの連絡先

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

筑波大学附属病院 呼吸器内科

TEL/FAX：029-853-3144